

Shokuhin News Neo -2024 February-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室

電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

修論発表

2月16日(金)に個性溢れる M2 の2名の修論発表会が行われた。田中遼は得意の要領の良さで素晴らしい発表ができたそう。先生方によると安井悠人(M2)はいつもの方が良かったらしい。本人曰く、緊張していたとのこと。お疲れ様でした！



発表が無事終わりほっと笑顔を見せる田中遼(M2)と安井悠人(M2)

卒論発表

2月26日(月)にはB4の5名による卒論発表会も行われた。先生陣の攻めの質問に対して、タジタジのB4のみなさん可愛かったです!!^^



☆星型を作成するB4☆

全く違うタイプの5名ですが、程よいバランスがとれており、違うからこそそのまとまりがありました。1年間お疲れ様でした！

卒論発表後には打ち上げが開催された。伺ったのは三宮にある『和牛タン次郎』。



インスタ映えした肉たち

店員さんに頻繁に絡む橋本先生に留意しながらも食べ放題のお肉を楽しんだ。店を出てからは行方不明になった橋本先生を探すミッションが課されたが、結局誰も発見することができなかった、...



橋本先生を探すことに尽力し、満足そうな笑顔を見せる織井悠樹(M1)

フリートークスペース

今月のフリートーク担当は M1 の孫小嵐です。彼女の人生に影響を与えた本について紹介してくださいました。

M1の孫小嵐です。今月は、人生観が変わる本、そして私の人生の最も影響を与えた本を紹介します。『易経』は中国で最も古く、最も奥深い古典のひとつであり、「あらゆる

る真理の源流」として知られています。易経には 3 つの書物があり、現存するのは『周易』のみです。



孫さんの紹介する本『周易』

易経は陰陽の2つの要素が一体となって世界の変化を記述し、それを使って未来の情報を得る方法を述べています。その内容は非常に豊かで、天文学、地理学、人事、自然科学から社会科学、社会生産から日常生活、国の治め方まで、多岐にわたり、すべてを網羅しています。

この本を何度も読み返した理由は、易経を学べば、世の中でどのように振る舞えばよいかわかります。例えば、平時に危険を思うこと、慎み深く自己完結すること、余剰を持ち繁栄を保つことなどを常に忘れないようにすることは、これからの人生に大いに役立つと思います。

易経では、人生において最も大切なことは自己修養であり、徳、能力、知恵であると理解し、自己修養と創造性を高め、無限のインスピレーションを常に同行させることです。

易経は“天の書”であり、天の道を語り、天地はなお自然の法則を犯しません。したがって、私たちが易経を学ぶ際の重要なことは、自然に反しないことです。

編集後記

修論や卒論発表が終わり、別れの季節が近づいていることを実感した2月でした。1年間、同じメンバーでやってきたので少し寂しいですね。残り1か月、悔いのないよう過ごしましょう。

宮脇聖(M1)